

9月17日 火曜日 朝会

おはようございます。昨日は敬老の日でした。皆さんは、おじいちゃん、おばあちゃんにやさしい言葉をかけてあげましたか。みんな、つまり孫からの言葉が一番元気のもとになるんですよ。遠くに住んでいたり、飛行機で帰らないと会えない所にいる人は、電話、今ならメールかな、いろいろな形で声を伝えてくださいね。何よりも、学校で頑張っているという話が伝わるのが一番です。

この前、ロイロノートで、みんなに東京都の教育プランというのを送りました。見てくれましたか。簡単そうに書いてあっても、よく読むととても難しいので、今日は、校長先生がその解説をしたいと思います。

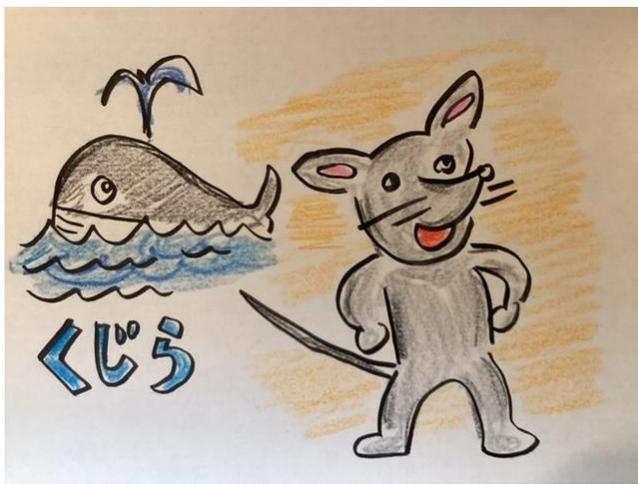
東京都教育ビジョンと言って、もとは75ページもある大人向けの東京都のめあてを一冊にしたものなのです。それを数枚で子供たちに伝えようとしているのだから無理がありますね。ふりがなを振ってあれば良いというものでもない先生は思いました。



最初のページに書いてあるのは、東京都の1万人の子どもからアンケートをとったら、いろいろな意見がありましたということが書いてあります。分かりやすくするために動物さんにしますね。

ライオンさんは、ぼくは自分で考えて行動するので、あまりいろいろなことを押し付けないでほしいな。と言いました。





ネズミさんは ぼくたちが小さいからと言ってバカにしないで、ぼくたちひとりひとりをクジラさん一頭と同じくらい大事にしてほしいなと言いました。



わたしは水の中で生きる魚 ぼくは土の中で生きるモグラ
ボクはゆっくりゆっくり木の上ですごしたいナマケモノ
それぞれの生き方をみとめてほしいなと言いました。

キツネさんは、ぼくはテストで100点を取ることも、キツネとしてむねをはって生きていくことができるように、「へんしん」の勉強をたくさんしたいなと言いました。



それを聞いた東京都の学校のリーダーの人たちが、子供たちのためにこういう学校を増やしていこうと決めたのです。それがこのページです。



子供たちが自分らしい力を伸ばし、自分の力でいろいろ大変なことを乗り越え、生きていくことができるようにしよう。

そして、いろいろな人がいるのだから、それぞれが仲間を大事にして、一緒に協力して生きていくことができるようにしよう。

むずかしい言葉ですが、こう書かれています。

**だれひとりとのこさず すべての子供がしょうらいへの希望をもって
みずからのび 育つ教育**

絵にかくとこんな感じです。ライオンさんも、大きなゾウさんも、小さなネズミさんも、さらに小さなミミズさんも、みんなそれぞれの生き方で頑張り、でも仲良くしているような感じです。



4枚目のページには、そのためにこんなことを東京都では進めていますという例が紹介されています。絵や写真は小さいのですがこんな場面がのっています。



たとえば左の絵です。

自分の速さで勉強したいから、早く進んだ子はさらに勉強をし、ゆっくりペースの子はあせらずに自分のペースで勉強しているのです。

また、真ん中の写真は、学校の先生が教えるのではなく、大きな会社ではたらく人から直せつ仕事の様子を聞いたりするのです。いろいろな人が先生になってくれるのですね。

右の場面は、これからは日本の国の中だけではなく、世界の中で力を出していけるように英語が得意になるようなこともできるようにしますというのですね。

このページには、さらにすてきなことが書かれています。



この前、パラリンピックがありましたね。オリンピックとパラリンピックは別々に開かれていましたが、子供の世界は、うまく一緒にかげっこが出来たらすてきだなということです。こんな感じかもしれません。



車いすの友達と、他のお友達がかけっこをしているのです。また、学校にどうしても通うのが苦手だという子もいると思います。そのような子が、安心して通える場所を学校の中につけてくれるというのです。うれしいですね。

さらに右の写真は、立吾小では「げんき広場」としてすでに進んでいます。放課後に地域の人に来て、勉強を見てくれたり、遊びに協力をしてくれるというのです。立吾小は進んでいますね。

最後のページでは、そんな子供たちのために頑張っている先生たちを東京都は応援します。ということが書いてあります。たとえば、一人一人がアイパッドを持ち、今回大きなテレビがクラスに入ったというのもその一つです。

学校や先生を支えるために

「もっと こうなったら いいな」
あなたの アイディアも 教えてください

先生一人ひとりの力を高めます

◆ たとえば…
子供たちみんなが ワクワクするような授業をつくるなど、先生たちも 勉強して 教える力を のばします

子供たちと向き合う時間を十分に取ります

◆ たとえば…
小学校の 担任の先生を 手伝う人や、中学校や 高校の 部活動を 教える人など、いろいろな人の 力を 生かします

子供たちが学びやすい学校にします

◆ たとえば…
子供たちみんなが、パソコンやタブレットを使って 気持ちよく 学べるようにします

子供たち同士で 話し合う時間を もっと 増やしてほしいよ

パソコンを使うと、近くに いなくても、みんなの 考えをし 知ることができて いいね

是非、おうちのひとと、教育ビジョンをもう一度読んでみてください。そして、意見があったら、最後にそれを送る方法があるので東京都に意見をどんどん送ってくださいね。未来に生きるみんなが力をつけるために、先生たちはがんばっています。